

どろんこ

2023年1月5日(木)

674号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



明けまして おめでとう ございます!



昨年コロナ感染症に振り回される1年でした。今もまだ感染が拡大して心配ですね。

組合では、コロナを気にしながらの活動しかできず、皆さんに還元できることが少なくなっています。研修会など、ズームでできるものもありますので、是非参加していただきたいと思っています。

世の中がウイズコロナとなり、保育園連絡会も感染予防をしながら開催を基本にできたらと考えています。「困っていること」、「こんな方法がありますよ」という報告など交流できるといいですね。「連絡会」のネーミングについても意見が出ています。

気軽に交流できる場として開催できると良いと思います。

今年も様々な事でご協力を頂くとお思います。

よろしくお願いたします。

「ふなみち」でも報告しています。が、「定年延長に係る要求」と「秋季年末闘争」を行っています。

12月13日(火)に職員課長交渉がありました。

人員不足については、一番の問題で、しかも毎年毎年同じ話をしていくような状況なので、改善について強く要求しました。

職員課長からも、「保育園との交渉の時に、保育園での状況がよくわかり、業務に支障があることもわかったので、今の状況を申し訳ないと思っています」と話していました。が、「どんな手立てが取れて、いつ解消されるのか。わかっているのにできないのは何故か?」と部長交渉に挙げています。組合からも、「定数内会計年度任用職員がいるのだから、その分正規を採用すればよいのでは」「人がいないなら、入所人数を減らす」等提案しています。募集広告をどこに掲載するかだけでなく、他にもできる事が無いかを考えてほしいものです。

人が足りないことで、有休も取りにくくなっています。本庁等との

くらい違いがあるかの資料を提出してもらいました。

昨年度正規保育園職員の有休平均取得日数は7.6日。

有休取得5日未満は16.3%。

市全体(保育園勤務職員を除く)の有休平均取得日数は14.7日。

有休取得5日未満は、3.3%です。

有休の中には、「クラス閉鎖中の有休」も含まれていることを考えると、本当に少ししか取れていないことがわかります。

早急な改善を求めます。

保育園での虐待について

「氷山の一角」とも言われ、どこでもあることの様に聞こえますが、「保育の見直し」をするきっかけとし、日々の保育や毎日頑張っている自分に自信を持ちましょう!



第54回

全国保育団体合同研究集会

合研 in 高知



感想

2022年8月20日(土)、21日(日)

☆ 「じょうずに食べる、たべさせる」
摂食動作、摂食機能の発達の部分で、改めて子どもの様子を見る視点やポイントとなる所を知ることができました。

また、離乳食を与える際、子どもがしっかり咀嚼や嚥下ができるよう、食材の調理法や素材、食具のサイズ、援助の仕方が大切なのだと感じました。

幼児期の子で、口の中の物をなかなか飲み込めない子がいるのですが、口への取り込み方、舌の動きを改めて見て、つまずいている所、援助の方法を考えていきたいと思いました。(習 1 H)

☆ 「じょうずに食べる、食べさせる」
STの先生なので、とても実践的で分かりやすく、職員みんなで聞いても良い内容でした。

「保育の安全と子どものいのちを守る職員集団づくり」

寺町先生は、以前自主研修でもお招きしたので、とても毎回興味深く感じました。安全は1人1人意識を持つことはとても重要ですが、やはり、管理者がいかに他人事にしないかということが重要だと思いました。(千鳥 T)

☆ 「ゼロ、1、2歳児の発達と保育」
改めて0～2歳児の発達について詳しいことを学ぶことができた。

クラス内で連携、子どもの姿の共有などが、子どもの思いや成長に気づき、必要な手立てを考える為に大切だと改めて実感した。(湊町 T)

☆ 1・2歳児担当クラスであったため、イヤイヤ期の発達について、話が聞けてよかった。

また、事例が多く、想像がつきやすかった。

幼児クラスの話し合い(子どもたち)について、自分の保育の見直しにもなった。次、幼児クラスの担当になった際にはやってみてみたいことが色々見つかって実際に保育に活かしていきたいと思った。(海 1 N)

☆ 「ゼロ、1、2歳児の発達と保育」

私は去年0歳、現在1・2歳クラスの担任をしているので、改めて0・1・2歳について深く学びたいと思って学びました。

特に、1歳児は「やってみたい！」という気持ち(興味関心)が強く、色々な事をやっていて関わり方に悩んでいました。「ダメ！」と決め付けずに今はどんなことを思ってこの遊びをしているんだろう、こういう考え方もあるんだという子どもの気づきに視線を向けてみると新しい発見が見つかるのだと思いました。

4月当初は環境の変化で泣いていた子どもたちですが、今は友達や先生のまねをしてみたり、言葉が増えやりとりができるまで成長したなと振り返るきっかけとなりました。

今後自分の保育を振り返って関わり方等学んでいきたいです。(海 1 K)

